



平成28年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【上溝地区】

平成29年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 上溝健康事業実行委員会	上溝健康体操事業	上溝地区内には70歳以上の高齢者が5,000人以上いる状況であり、今後も増加する。このような高齢社会の中、一人ひとりの高齢者が自立し、健康に生活していくことが地域にとっても重要であると考えられる。また、住民の高齢化に伴い、地域活動への参加者が減少し、住民同士の交流する機会が少なくなっており、住民同士が十分なコミュニケーションが図られていない状況がある。	地域住民の健康維持を図り、住民相互のコミュニケーションを充実させることにより、健康で健全な地域づくりと地域の活性化を目的とする。	地域の住民を対象に、健康維持や介護予防を目的に、年間を通じてラジオ体操指導者等を講師にむかえ、健康体操事業等を実施する。事業は、6月から3月まで12回を予定しており、ラジオ体操指導者等に講師をお願いする。また、相模原市主催の養成講座を受講した介護予防サポーターや健康づくり普及員が、講師の補助や事業の支援を行う。	5月20日	182,000	182,000	182,000
2 上溝夏祭りフェイスペイント事業実行委員会	上溝夏祭りフェイスペイント事業	郷土に古くから伝わる神輿や山車を公開し、まつりばやしなどの郷土の芸能を披露する上溝夏祭りであるが、子ども達を楽しめるイベントがあまりない。また、自治会や子ども会の加入率が低下しているなど神輿の担ぎ手や山車などの担い手も少なくなっている。このことから、上溝夏祭りを良いかたちで次世代に繋げるため、子ども達にも楽しめるイベントが必要ではないかという意見が地域にはあった。このことを受けて試行的に、昨年は上溝在住の東京造形大学の美術家の先生方に協力をいただき、上溝夏祭りの期間に子ども達のためのフェイスペイント事業を実施し、短い時間であったが多くの子ども達が参加し好評であった。このため今年度は、実行委員会を設立し美術家の先生方だけでなく、イベントスタッフに地域住民や地域の学生等も加え、地域住民間の交流を図り、地域の活性化に貢献するとともに、未来を担う子ども達に、ペイントや美術表現を通じて豊かな人間味や想像力の向上に資し、地域やふるさとに対する愛着心を育んでいきたい。	・上溝夏祭りの期間に、次代を担う子ども達を楽しめるイベントを実施することで、子ども達の地域に対する愛着心や郷土愛を深める。 ・地域の子供達が、プロの美術家の指導や表現にふれることで、子ども達の豊かな人間味や想像力の向上に資する。 ・イベントの運営に地域住民や地域の学生等を加え、地域住民間の交流を図り、地域の活性化に貢献する。 ・イベントの開催に自治会や子ども会等の地域活動団体が貢献・協力していることをPRし、地域活動団体の加入促進を図る。	上溝夏祭りの期間(7/24)に、子ども達が参加できる美術イベントを実施し、子ども達の地域に対する愛着心や郷土愛を深める。 ・イベントには、地域在住の美術家の先生に指導をお願いする。 ・イベントスタッフに地域住民や地域の学生等を加える。 ・イベントの開催に自治会や子ども会等の地域活動団体が貢献・協力していることをPRする。 ・子ども達に上溝シンボルマークを利用したグッズを配布し、地域に対する愛着心や郷土愛を深める。	5月20日	190,000	190,000	190,000
3 ぶらっと上溝子ども食堂運営チーム	ぶらっと上溝子ども食堂事業	今、親の勤務の都合等により一人で夕飯をとる子ども達や、栄養面で満足な食事がとれない子ども達が多数いると言われている。このような状況の中、家庭だけで子ども達の「食」や「食後のだんらん」を担うことは難しく、地域社会に「愛情いっぱい栄養いっぱいの食事」や「大人に見守られてみんなで楽しく食事をとれる場」、「食後にくつろげる場」を提供する役割が期待されている。	・スタッフ、ボランティア、食材提供者などの地域協力者、地域団体等との交流や連帯、及び協力により事業を実施し、問題や課題について、より多くの方々に理解していただくことで、子ども達を見守る地域社会づくりを図る。 ・地域住民とのだんらんをとおして、よき理解者である地域の大人の存在を知らせ、安心感を子どもに醸成させる。	・地域の子供達を見守る環境づくり、コミュニティづくりの一環として、子ども食堂を月に1回程度設け、また、地域住民を対象とした共食の理解を深める講演会等の開催を検討・計画する。 ・自主運営を図るため、事業の周知や広報を丁寧に実施し、食材のほか、賛助金や物品の提供についても、広く募集する。	8月25日	242,000	150,000	43,000

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4 上溝本久・コスモスセンターふれあいまつり実行委員会	上溝本久・コスモスセンターふれあいまつり事業	1. 住民が主体となり地域を創りあげていく意識の希薄化傾向 2. 転入者の地域への関心が低く、自治会加入が低迷 3. 高齢化が進む地域にとって、高齢者福祉施設との連携強化は喫緊の課題	・まつりの広報を通して転入者の自治会への関心を高め、加入促進を図るとともに、まつりへの参加を促すことで会員の自治会意識を高め、地域活動を活性化させる気運を高める。 ・地域にある福祉施設と地域内住民との連携やコミュニケーションを深める機会とする。	ふれあいまつりを地域の福祉施設と協働開催することで、事業内容の充実を図るもので、芸能発表、野外イベント、模擬店、作品展示等に参画することで地域住民相互の交流・親睦を深める内容とする。 また、こうしたことにより、自治会員の地域福祉意識の向上の一助とするとともに、平常時も災害時も連携して行動できるよう福祉施設と自治会の双方の機能、活動内容の理解を深める契機とする。	10月3日	171,000	171,000	171,000
5 小田急多摩線延伸・上溝駅開設推進準備委員会	小田急多摩線延伸・上溝駅開設推進事業	本年4月、小田急多摩線の延伸計画が国の交通政策審議会で意義あるプロジェクトと位置づけられ、実現に向け一歩前進した。しかし、実現に向けては費用負担や採算性など多くの課題が指摘されており、将来を見据えたまちづくりが必要と思われる。一方、小田急多摩線延伸に対する地域の取り組みは、他の沿線地域に比べ、今ひとつ盛り上がり欠けるように思える。次代の上溝を考えた時、地域が一体となり、早期実現に向け積極的に取り組む必要があると考える。	小田急多摩線延伸計画を地域住民に広く周知し、関心を持ってもらい、計画の早期実現に向け、地域が一体となり積極的に取り組み、上溝地区の活性化、「住みよいまちづくり」、「賑わいのあるまちづくり」の新たな創造を目的とする。	小田急多摩線延伸の早期実現に向け、自治会や商店街など地域が一体となり積極的に取り組むため、広報活動を展開し、新たに組織を立ち上げる。 新たな延伸推進組織や地域の関係団体の行うイベント等でアピールするための「のぼり旗」と、商店街の街路灯に取り付ける「フラッグ」を作成し、地域住民に広く周知し、関心を高めていく。 また、小田急多摩線延伸・上溝駅開設推進をより多角的継続的に事業展開するため講演会等を行い、さらに3月には推進組織の設立総会を開催する。 開催予定 1 平成28年12月 小田急多摩線延伸・上溝駅開設を推進するための講演会等の開催 2 平成29年3月 新組織の設立総会の開催	11月7日	875,000	875,000	875,000
6 お喋りベンチ事業実行委員会	休憩・お喋りの空間としての木製ベンチづくり事業	地域では家に閉じこもりがちな高齢者が多い。多くの高齢者から、外出しても腰をおろして休む場所もないため、外出を控えてしまう、という声が聞こえていた。また、地域の方々とのコミュニケーションを図る「場」が欲しい、という声もあった。 このため、気軽に外出し、腰をおろしてのお喋りなど、地域の方々とのコミュニケーションを図ることができる「場づくり」を考えた。	身近で、気軽に話し合える「場」として木製のベンチを製作・設置し、高齢者のみならず、地域の方々のコミュニケーションの場として利用して頂くこと、また、製作に親子が関わることで、新たな地域活動の担い手の育成と幅広い世代間のコミュニケーションの促進を目的とする。	上溝地区内の全自治会を通して、ベンチを設置したい場所と数量を把握するとともに、高齢者施設等からも設置希望台数を把握してベンチを製作する。 製作は、ベンチの製作に参加したい親子やボランティアを募集。「ぶらっと上溝」で組み立て、塗装等を行い、各地域に配置する。 また、各地域に設置されたベンチを利用する方々や触れ合う方々の笑顔などの写真を募集し展示を行い、事業のピーアールをするとともに、地域の活性化を図る。	11月7日	290,000	290,000	290,000
						1,950,000	1,858,000	1,751,000